

◎一般質問

○議長（市川幸三議員） 15番、島村美貴子議員。

〔15番 島村美貴子議員登壇〕

○15番（島村美貴子議員） 15番、けやきクラブ、島村美貴子です。通告順に従いまして一般質問をさせていただきます。

大きな1番、安心、安全で住みよいまちづくり、（1）、防犯体制についてです。これは、学校情報メールについてお伺いをいたします。

①、雷、豪雨、地震などの災害時の活用実績についてお伺いいたします。

②、保護者や地域の方の登録状況について伺います。平成22年12月議会の一般質問のときには、約半数の家庭が登録し、防犯関係者を含めた地域の方の登録は、小学校2校で10人から20人程度でした。今後の課題として、保護者や地域の方々の加入率をより高めることだとの答弁がありましたが、その後の登録状況についてお伺いいたします。

③、各学校別のメール配信の実績とその内容、配信回数について伺います。

④、メール配信の仕組みについてお伺いいたします。

次に、大きな2番、子育てするなら桶川。

（1）、桶川市における産科の現状と問題点についてお伺いいたします。

（2）、市として産科を誘致するお考えについてお伺いします。

次に、大きな3番、町の活性化策について。

（1）、マスコットキャラクター「オケちゃん」の活用についてお伺いいたします。

①、現在の活用状況について。

②、「オケちゃん」の認知度の評価について。

③、今後の展開についてお伺いいたします。

（2）、サブカルチャーを活用した活性化策のお考えについてお伺いします。これは、アニメなどを活用した活性化策についてです。

次に、大きな4番、桶川市公式サイト運用についてです。

（1）、ホームページ管理運営システム（CMS）導入における最終選考の結果についてお伺いいたします。

次に、（2）、現在の進捗状況について伺います。

（3）、完成の見通しについてお伺いいたします。

大きな5番、道路の安全対策について伺います。

（1）、鴨川保育所近くの市道4046号線は、狭く、下日出谷側及び鴨川側の東西から車や自転車、歩行者が通行してきます。見通しが悪い箇所も多く、カーブミラーが設置されるなどの対策がとられていますが、ミラーが設置されていない箇所もあります。県道滝の宮線の工事等で周辺道路は混雑し、抜け道として大型車も進入してくる状況で、保育所の子供たちも散歩に利用しています。西側大通り線やショッピングセンターも計画されているが、今後の市道4046号線の安全対策についてお伺いいたします。

次に、（2）、市道4046号線と駅西口に通じる県道さいたま鴻巣線の交差部の朝夕

の渋滞対策についてお伺いいたします。以上で1回目の質問を終わりにします。

○議長（市川幸三議員） 教育部長。

〔大野幸久教育部長登壇〕

○大野幸久教育部長 大きな1の安心、安全で住みよいまちづくり、(1)、防犯体制の①、雷、豪雨、地震などの災害時の活用実績についてでございます。

これにつきましては、資料を用意いたしましたので、そちらをごらんください。過去2年間における防犯メールの活用内容について申し上げますと、昨年3月の大震災の関係では、市内小中学校11校のうち3校でメールの配信がございました。また、その年の台風接近の際は8校で、またことしは雷等悪天候の際に6校で配信しております。詳細は資料にございますが、保護者に確実に情報を伝える手段として大いに役立つものと考えております。

続きまして、②、防犯メールの登録状況でございますが、平成24年12月1日現在で保護者の登録は、小学校において多い学校で80%でして、2年前と比べますとかなり登録者が増えた状況でございます。中学校では、4校ともほぼ同じような状況で、約60%程度でございました。地域の方々の登録は、小学校3校で50人弱となっており、登録者が伸び悩んでいるところでございます。

次に、③、各学校別のメール配信の実績でございますが、平成24年1月から現在までの状況で、学校ごとにばらつきはございますが、小学校では多いところで130回程度、中学校では10回前後で、小学校のほうが子供も小さいこともありまして、配信回数が多い傾向にあります。

内容別で見ますと、小学校全体では不審者情報が最も多く25回、次に雷雨等悪天候による学校待機のお知らせが4回、その他行事や予定の変更のお知らせ等がございます。学校によっては、防犯メールの新規登録者に対するお礼や毎月の行事予定等を配信している学校もございました。

中学校全体でも、最も多いものは不審者情報で10回、次いで悪天候による学校待機のお知らせが2回でございます。また、スキー教室や修学旅行における子供たちの様子や日程の進捗状況等の情報をリアルタイムに発信した学校もございました。

以上のように配信の実績につきましては、学校によってさまざまですが、学校からの情報発信のツールとして利用している学校もあり、各学校ごとに工夫しながら配信している状況でございます。

④のメール配信の仕組みでございますが、配信方法として、一斉配信や学年別の配信及び特定の個人を選択しての配信などにつきましては、市内小中学校11校の全ての学校で可能でございます。

以上のように、防犯メールの利用状況につきましては、全体としては登録状況や発信状況が増え、活用されてきた傾向にございます。しかしながら、定期的に発信をしたり、子供たちの様子をリアルタイムに発信するなど、工夫をしている学校があれば、不審者情報しか配信されていない学校もあり、学校によって大きく異なる状況にあります。教育委員会といたしましては、登録者を増やすため、工夫、改善を図るとともに、さらなる有効活用等、学校に対する意識啓発も必要であると考えております。

○議長（市川幸三議員） 健康福祉部長。

〔栗原安雄健康福祉部長登壇〕

○栗原安雄健康福祉部長 続きまして、大きな2の（1）、産科の現状と問題点についてでございますが、皆さんご案内のとおり、年間の出生数は年々減少傾向にありまして、本市の出生者数は平成23年度が573件でございますが、市内では出産を取り扱っている医療機関は残念ながらないことから、近隣の医療機関で出産をしている状況でございます。

特に市民の多くが利用している医療機関といたしましては、上尾市内では木下産婦人科クリニック、上尾中央総合病院、ナラヤマレディースクリニック等、また北本市内では北里メディカルセンター病院等となっております。

なお、問題点といたしましては、そうした医療機関の中で上尾市の木下産婦人科クリニックが9月以降、新たな出産受け付けを見合わせたいということから、市民が身近に産産できる医療機関が減少したことになり、市としても大きな問題と受け止めているところでございます。

次に、（2）、産科の誘致についてでございますが、ご案内のとおり産科や小児科は全国的に減少傾向にあり、特に産科につきましては、希望する医師不足が続いておりまして、地区医師会との懇談の中でも課題となっている実態がございます。しかし、今後の未来を担う新しい命の誕生のため、安心して産産できる環境づくりは、子育て支援の維持向上を推進する上で、本市といたしましても重要な施策となっているところでございます。

そうしたことから、まずは産科を標榜しております医療機関に対しまして地区の現状を訴え、産科医師の充実を要望することが必要と考えまして、現在関係機関と調整をしているところでございます。

以上です。

○議長（市川幸三議員） 市民生活部長。

〔柴栄市民生活部長登壇〕

○柴栄市民生活部長 大きな3、まちの活性化策についてお答えを申し上げます。

（1）、オケちゃんの活用についての①、現在の活用状況についてでございますが、桶川市のマスコットキャラクターオケちゃんは、現在誕生から3年目を迎えており、市職員の名刺や印刷物等への挿入、ハンカチやストラップといったキャラクターグッズの作成、また着ぐるみにつきましては、貸し出しによる利用や各種イベントへの参加など、年間では50回を超える活動をしております。

次に、②、オケちゃんの認知度の評価についてでございますが、市内においては小中学校の行事や各種催し物への参加機会が増え、加えて市外のイベントにおいても積極的に声がけをいただく機会が大変多くなってきたことを実感しております。

しかしながら、先月行われたインターネットによる投票で人気を競う「ゆるキャラグランプリ2012」においては、865体の参加キャラクター中、349位という結果でありましたことから、今後は上位入賞を目指して、市外に向けても情報発信やPRを行ってまいりたいと考えております。

次に、③、今後の展開についてでございますが、認知度の高い他市町のキャラクターの活用事例等を参考にしながら、活用主体である桶川市観光協会と検討を行い、新たなデザインの追加作成や関連グッズの開発等に取り組むとともに、活動機会を増やしてまいりたいと考えております。

続きまして（２）、サブカルチャーを活用した活性化策についてでございますが、県内では久喜市や秩父市のようにアニメのキャラクターを活用して成果を上げている事例が見られますので、今後桶川市商工会や観光協会等の関係機関と協議、検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（市川幸三議員） 総合政策部長。

〔金井秀明総合政策部長登壇〕

○金井秀明総合政策部長 続きまして、大きな４、桶川市公式サイト運用について、（１）、ホームページ管理運営システム（CMS）導入における最終選考の結果についてお答え申し上げます。

業者選定につきましては、総合政策部長を委員長とする内部委員会を組織し、選定を行いました。募集は、公募型プロポーザル方式とし、応募のありました５社について書類選考を経て、通過した４社に対しデモンストレーションとプレゼンテーションを課し、６月１５日の第２次選考会により三谷コンピュータ株式会社を選定いたしました。

（２）の現在の進捗状況についてでございますが、ページのデザイン、コンテンツの骨組みを決定し、現在データの移行作業を実施しているところでございます。

（３）、見直しについてでございますが、新ホームページを来年２月１日から立ち上げることを目標に作業を進めてまいります。その後、各課で更新が行えるような体制に移行できるよう、今月から来月上旬にかけ職員に操作、アクセシビリティ研修を行う予定となっております。

○議長（市川幸三議員） 都市整備部長。

〔濱川敦都市整備部長登壇〕

○濱川敦都市整備部長 大きな５の道路安全対策、（１）、（２）についてでございますが、関連がございますので、一括してご答弁させていただきます。

市道４０４６号線の安全対策でございますが、この道路の幅員は６メートルございまして、地域の生活道路となっております。ご指摘のとおり、現在県道川越栗橋線の拡幅工事が行われるとともに、区画整理組合による街路工事なども行われている中で、川田谷方面からの車両は、市道５８号線を右折して桶川駅への送迎や上尾方面へ通行しており、朝夕を中心に市道４０４６号線が渋滞しております。

このような中、県道川越栗橋線の拡幅工事が平成２５年夏ごろまでに完成予定となっております。また、西側大通り線は市道４０４６号線と県道さいたま鴻巣線との交差部から県道川越栗橋線までの区間について、平成２６年度を開通目標に工事を区画整理組合で進めております。完成後は、市道４０４６号線を介して上尾方面や国道１７号方面へと通過している車両が西側大通り線を通行すると考えられ、市道４０４６号線の交通量は減少

に向かうと考えております。それまでの間は、市民生活部と協力して道路の安全点検や見通しが悪い交差点へのカーブミラー設置など取り組んでまいりたいと考えております。

市道4046号線と駅西口に通じる県道との交差点の朝夕の渋滞対策でございますが、ただいまご説明させていただきましたとおり、西側大通り線が完成しますと、多くの車両がそちらに移っていくと考えられますので、もうしばらくご辛抱いただきたいと存じます。

○議長（市川幸三議員） 15番、島村美貴子議員。

〔15番 島村美貴子議員登壇〕

○15番（島村美貴子議員） ご答弁ありがとうございました。2回目の質問をさせていただきます。

大きな1番、安心、安全で住みよいまちづくりの（1）、防犯体制についてです。ことしの9月、下校時の突然の雷雨で学校待機となった小学校がありました。このときは、学校情報メールは活用されませんでした。子供に傘を持たせていなかった多数の保護者が徒歩や車で学校に子供を迎えに行き、そこで初めて学校待機だということがわかりました。結局車で迎えに来た保護者には教室で子供を引き渡し、徒歩で迎えに来た保護者は、いつ学校待機が解除されるのか見当もつかない状況で、学校の昇降口や軒下で待機するはめになりました。学校に確認をしたところ、高学年はまだ授業をしていて、低学年だけが待機になった状況で、メールの送信ができなかったというお話でした。

しかし、今のご答弁を伺うと、学年別等の配信も可能で、当然低学年だけに配信することも可能だと理解をしました。いただいた資料によると、学校待機や下校時刻が変更になった場合にメール配信を活用している学校もあるようですが、本当に活用できているのは、東日本大震災のときに活用することができた小中学校合わせて二、三校くらいしかないのかなと推測をいたします。

そこでお伺いいたします。1点目、先ほどの事例のように雷雨等により下校時刻が変更になったり、学校待機となった場合に、雷雨の中、保護者が子供を迎えに行き、軒下等で待機するのは危険が及ぶ可能性もあることから、メールの活用が必須だと思うが、活用されなかった理由について、技術的な問題なのか、それとも人的な問題なのか、お伺いいたします。

2点目、学校により活用レベルに差があるが、桶川市の子供たちとその保護者が平等に情報を得られるよう、スキルアップが望まれるが、その方策についてお伺いいたします。

次に、3点目、スキー学校や修学旅行の様子をリアルタイムに配信した学校があるということで、上手に活用している学校もあるようですが、こういった活用事例を他の学校に情報提供したり、情報を共有し合うことはできないのか、お伺いいたします。

次に、大きな2番、子育てするなら桶川ですが、質問に入る前に1点確認をさせていただきます。先ほどのご答弁で、木下産婦人科クリニックですけれども、9月以降新たな受け付けを中止するとのことのご答弁でしたが、私が伺っているのは来年2

月で分娩の受け付けを中止すると伺っていますが、まずここを確認させていただきたいと思います。

桶川には出産できる病院がなく、これまでも他市の病院に頼っていた状況があります。中でも木下産婦人科クリニックは、住所は上尾ですが、最も桶川に近く、多くの市民が利用している状況があります。しかし、来年2月で分娩の受け付けを中止するというので、市民からは身近な病院がなくなることに不安の声が上がっています。

そこでお伺いいたします。1点目、去年の出生者数573件のうち、木下産婦人科で出産した割合についてお伺いいたします。

2点目、産科不足は深刻で、産科の施設によってはかなり早く予約や通院をしないと出産を受け付けてくれないというところもあるようです。近隣の病院の現在の状況と、今後木下産婦人科クリニックが分娩を行わないことで、市民への影響についてお伺いいたします。

3点目、産科の誘致について、関係機関と調整しているとのことですが、そもそも当市は出産できる病院がいつからないのでしょうか。また、これまでの間、誘致についてどういった対策を行ってきたのか、お伺いいたします。

次に大きな3番、まちの活性化策について、(1)、マスコットキャラクターオケちゃんの活用についてです。

1点目、ゆるキャラグランプリの結果を見ると、まだまだアピールする余地があると思いますが、各市においてキャラクターを増やしたり、ストーリー性を持たせるなどの変化を加えています。

例えば伊奈町のローズちゃんとローズくんという双子の妖精ですが、川島町のキャラクターは、かわべえには最近孫のかわみんができました。オケちゃんは、性別不詳ということで、ここからどのようにストーリーを展開させていくのか楽しみでもあります。デザインの追加作成に取り組むということですが、具体的な案があるのか、お伺いいたします。

次に、2点目、当市は865体中349位との結果ですが、近隣他市の状況についてお伺いいたします。

(2)、サブカルチャーを活用した活性化策のお考えについてで1点お伺いをいたします。去年の9月議会でも市民ホールで行われているコスプレ撮影会について質問し、若い人の表現の場の提供やまちおこしの一環としてイベントの開催ができないか、お伺いいたしました。

先月羽生で行われた「ゆるキャラサミット」は、2日間で29万5,000人の来場者数でした。コスプレイベントやサブカルチャーに限らず、当市でも人が集まるイベントの開催について検討していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

次に、大きな4番、桶川市公式サイト運用についてです。

1点目、大きな3番、オケちゃんとの関連もありますが、北本市では公式サイトに人工知能とマスコットキャラクターを活用した運用を始めました。当市は、今CMSを導入し、公式サイトのリニューアルを進めている最中で、新しく先進的な取り組みを行うチャンスだと思います。2月からの新ホームページが立ち上がる予定とのこと

ですが、新しい取り組みが予定されているかどうか、お伺いをいたします。

次に、2点目、CMSが導入されると、情報に精通している各課が情報提供や更新が行うことができ、これまでのように一局に情報を集めアップするよりもより効率的で、かつ市民にとっても早く詳細な情報が得られるメリットがあります。

しかし、各課の技術レベルや活用方法に差が出ることも考えられますが、その対策や各課の連携についてお伺いいたします。

大きな5番、道路の安全対策についてです。

1点目、西側大通り線は、平成26年度の開通を目指し工事を進めているとのことですが、具体的に何月ごろの開通になるのか、お伺いいたします。

2点目、西側大通り線が開通すれば、市道4046号線の交通量は減少するとのことですが、それまでの間の安全対策として、カーブミラーの設置が具体的に検討されている箇所があるのか、お伺いいたします。

次に、3点目、駅に向かう県道さいたま鴻巣線と西側大通り線の交差部及び県道と市道4046号線の交差部の形状についてお伺いいたします。

4点目、現在市道4046号線が通学路になっていますが、西側大通り線開通後は通学路の変更がされるのかどうか、お伺いいたします。

以上で2回目の質問を終わりにいたします。

○議長（市川幸三議員） 教育部長。

〔大野幸久教育部長登壇〕

○大野幸久教育部長 再質問の防犯体制の1点目、雷雨等により下校時刻が変更になった際に防犯メールが活用されなかった理由についてお答えいたします。

議員さんご指摘の事例の学校につきましては、防犯メールではなく、電話による緊急連絡網を利用したとのことでございます。しかしながら、電話の場合は不在などで連絡がつかず、ご質問にありましたように、そのような事態も起きてしまいました。そのような混乱を防ぐために、学校に対して防犯メールを活用するように要請をしたところでございます。

2点目と3点目につきまして、一括してお答え申し上げます。学校側のスキルアップの方策と活用事例の情報提供等でございますが、教育委員会といたしましても、さらなる活用に向け取り組みたいと考えております。今後につきましては、緊急時を初めとした積極的な活用について、校長会を通して各校長に指示をいたします。

また、防犯メール用のパソコンの有効活用が不足していることから、担当者の研修会や情報交換を通して、どの学校でも同じような情報が得られるように改善を図ってまいります。

続きまして、道路の安全対策の4点目の西側大通り線開通後の通学路の変更についてでございます。新しくできる西側大通り線は、歩道と車道が完全に分離されますので、市道4046号線の交通量が減少したといたしましても、そこを通学するよりも安全で、また幾分通学距離も短くなると思われれます。通学路の変更につきましては、子供たちの安全を第一に考えまして、道路状況の変化、こちらのほうを十分に検討した上で学校側と協議を行ってまいります。

○議長（市川幸三議員） 健康福祉部長。

〔栗原安雄健康福祉部長登壇〕

○栗原安雄健康福祉部長 続きまして、大きな2、子育てをするなら桶川の再質問にお答えをさせていただきます。

まず、1回目の答弁の確認事項の話がございました。先ほどの答弁の中では、9月以降の新たな受け付けを見合わせると、そんなふうなことのお答えをさせていただきました。この具体のお話というのは、新たな受け付けは9月でとりあえず見合わせるということで、実際の今議員さん言われました2月というようなお話は、出産を2月まで行くと、そんなふうなことで、その辺の違いのことだと思えます。そういうことでよろしくご理解をいただければと思います。

それでは、続きまして木下産婦人科クリニックでの出産割合でございますが、妊婦検診の利用券によりますと、平成23年度に受診された方が298人であることから、約半数の方が木下産婦人科クリニックで出産されたものと思われます。

次に、近隣病院での産科のある医療機関といたしましては、上尾市に3件、北本市で1件、鴻巣市1件、蓮田市1件などとなっております、新規開院等の予定は聞いていないところでございます。

木下産婦人科クリニックが出産を受け付けないことの市民への影響は大変大きいものと受け止めており、市民からの問い合わせに対しましては、近隣の医療機関をご案内をしているところでございます。

次に、市内での産科がなくなった時期につきましては、六、七年前からでございますけれども、この間産科の誘致につきましては、地区の医師会や管内の病院との会議でも相談をしておりますが、労働条件の厳しさや医療訴訟リスクの高さから産科医が大きく減少しているため、厳しい状況が続いております。

市といたしましても、県央地区の構成市町及び県を含めましてこれまでも産科を標榜しております医療機関に産科医師の拡充についてのお願いをしてきたところではございますが、今後につきましても粘り強く要望を続けてまいりたいと考えてございます。

以上です。

○議長（市川幸三議員） 市民生活部長。

〔柴栄市民生活部長登壇〕

○柴栄市民生活部長 再質問にご答弁申し上げます。

まず、大きな3、まちの活性化策についてのオケちゃんデザインの追加作成の具体的な案ということでございますが、デザインの追加といいましても、今のところ、答弁で申し上げたデザインの追加というのは、キャラクターを増やすとかいうことではなく、オケちゃんの格好とか持っているものとか、そういったものを変えていくというようなデザインということで、シールとかを用意して配布なんかしておるのですが、そういったデザインがございまして、これは職員間で募集等行って、おにぎりを持っているものとか、本読んでいるものとか、バットを持っているものとか、そういったデザインという形でご理解いただければと思います。これについては、現在では

24種類ということになっているところでございます。観光協会のホームページでもそういったデザインについては募集をしているといったところでございます。

これから皆さんの協力を得まして、いろんな形で募集をしていきたいと思っておりますが、ご質問にもございましたように、今後オケちゃんを全国的に有名にしていくには、そういったストーリー等も必要になってくると考えております。なお、そのストーリーの中で新しいキャラクターをどういった形で増やしていくのか、いかないのか、そこも含めて今後また検討させていただければと思っております。

それから、2点目のゆるキャラグランプリの近隣市の結果ということでございます。これにつきましては、先ほど申し上げたとおり、オケちゃんにつきましては865体中の349ということでございまして、これ決してオケちゃんがかわいくないからというわけではなくて、羽生のゆるキャラグランプリも行きましたが、その現場ではオケちゃん、結構初めて見た方でもかわいいということで、一緒に写真を撮ってくれと結構人気を博しておったのですが、中にはオケちゃんよりも上位のゆるキャラでも、どう見てもこれかわいいのかいというようなものがいっぱいありまして、要はゆるキャラグランプリ、これインターネットで投票していますので、いかに票を集めるかという戦略、戦術の問題なので、それによって得点が決まっていくということになってくると思います。これに関しましては、来年はそういった戦略、戦術をもって、もうちょっと上位になるように臨めればと思っております。

ちなみに、埼玉県内で上位にランキングしたキャラクターというのは、深谷市のふっかちゃん、これが5位に入っております。そして、埼玉県のコバトンが23位と、それから久喜市の先ほどのしょうぶパン鬼一、28位に入っております。近隣市では、上尾市のアッピーが98位、北本市のとまちゃんが103位、伊奈町のローズちゃん、ローズくんが239位と、鴻巣市のひなちゃんが389位、吉見のよしみんが425位、川島のかわべえが503位といったところでございます。

次に、(2)番の人が集まるイベントの開催についてでございますが、こちらにつきましては、桶川市では現在べに花まつりとか市民まつり、こういった既存の祭りで大勢の方々、市外からおいでいただいております。これらの既存のイベントを充実させるなり、新しいイベントを開催を検討するなりとして検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○議長（市川幸三議員） 総合政策部長。

〔金井秀明総合政策部長登壇〕

○金井秀明総合政策部長 続きまして、大きな4の桶川市公式サイト運用についての再質問についてお答え申し上げます。

北本市のマスコットキャラクターとまちゃんを活用した会話形式での検索システムが話題になりましたことは承知いたしておりますが、桶川市としてはまずホームページの基本機能の充実を図りたいと考えております。

桶川市の緊急の課題は、まずホームページのリニューアルであり、現状のふぐあいとアクセシビリティの向上を最重要課題といたしました。簡単をキーワードにシス

テムづくりを考えており、イベント情報のカレンダー化や関連情報のリンク配置の改善など、わかりやすさを向上させたところがございます。

新しい試みと言えるものは、ホームページの検索性を向上させるため、情報の主要部分となる暮らし、手続の分類をトップ画面に配置し、直感的操作で詳細ページへガイドできる情報ガイドナビゲーションを採用いたしました。この仕組みは、現在県内の他市ホームページではない、先進的なナビゲーションであり、アクセシビリティが向上するものと考えております。

2点目の各課入力後のサイトのバランスについてのご質問でございますが、語句や内容のチェックは各課の情報発信責任者が行いますが、各課で発信した情報に対して、公式ホームページ管理者として秘書広報課長が逐一チェックを行い、必要により改善を指導してまいります。

また、訪問者の簡易アンケートによる評価を取り入れ、ページ評価を主管課に届ける仕組みを取り入れました。その他、基本的なテンプレートを設けることにより、情報の入力項目を制限することとしております。

また、研修の中で一定ルールに共通認識を持たせたり、必要に応じてマニュアルの作成、改善を行うことで各課の内容のバランスをとりたいと考えております。

また、マスコットキャラクターのオケちゃんもデザインに採用はしておりますが、システムが安定いたしましたら、マスコットキャラクターのさらなる活用についても取り組みたいと考えております。

○議長（市川幸三議員） 都市整備部長。

〔濱川敦都市整備部長登壇〕

○濱川敦都市整備部長 大きな5の道路安全対策についての再質問のうち、1点目の西側大通り線の開通時期についてですが、現時点では平成26年夏ごろに開通予定とのことです。

2点目の市道4046号線におけるカーブミラー設置の検討につきましては、現在は地元から具体的な要望はお受けしておりませんが、道路状況を確認し、検討してまいりたいと考えております。

また、安全対策としまして、11月に歩行者の通行を確保するため、市道58号線から県道さいたま鴻巣線までの615メートル区間のうち572メートルについて、片側にグリーンベルトを設置しております。

3点目の西側大通り線と県道さいたま鴻巣線との交差点の形状についてですが、西側大通り線には右折帯の設置を計画しております。西側大通り線と交差する県道さいたま鴻巣線及び市道73号線への右折帯の設置につきましては、今後交通管理者である県警と道路管理者である北本県土整備事務所を交え、協議してまいります。

また、市道4046号線の交差方法についてですが、西側大通り線の開通に伴い、このままでは5差路の交差点となり危険であることから、市道4046号線の終点部を西方向に曲げ、新しい交差点の北側で西側大通り線に接続するようつけかえる計画でございます。

○議長（市川幸三議員） 15番、島村美貴子議員。

〔15番 島村美貴子議員登壇〕

○15番（島村美貴子議員） まず、大きな3番のマスコットキャラクターのオケちゃんですが、確かにオケちゃんかわいいという声は聞くのですけれども、いかに市民を巻き込んで、また投票を行っていくかという課題もあると思いますので、今後に期待をしたいと思います。

次に、大きな2番の子育てするなら桶川ですが、約半数が木下産婦人科クリニックを利用していたということで、市民への影響はかなり大きいと感じました。市民からの問い合わせがあるというお話でしたが、今のところどれぐらいの問い合わせがあるのか、お伺いいたします。

また、分娩のできる産科を誘致するため、開業費用を助成する制度を創設している自治体もあります。1億円を助成する自治体や6,000万円を上限に5年分割で助成する自治体など、内容はさまざまです。全国的な産科医不足により、助成制度による自治体同士の誘致合戦になっているとの批判的な意見もありますが、本市としても深刻な問題ですので、助成制度の創設についてのお考えをお伺いいたします。

以上で一般質問を終わりにします。

○議長（市川幸三議員） 市長。

〔岩崎正男市長登壇〕

○岩崎正男市長 産科問題というのは、非常に実は深刻な問題でございます。先ほどご質問がございましたように、木下産婦人科さんが新しい方を受け付けないという情報が入りまして、すぐに地区医師会と対応をどうするかというお話をさせていただきまして、やっぱりこの辺では上尾中央病院と、それから北里メディカルということになるのですが、北里のほうも現在先生が4人いて、何とかもう一人増やしてもらえないかという、こういうお願いも地区医師会を通じてやりました。北里としても最大限の努力はするけれども、1人増やすというのは今の状況、産科医不足の中では相当きついというお話をいただいたところでございますが、何とか少しでも皆さんの不安を払拭するように、病院としても努力をしますというお話をさせていただいたところでございます。

誘致のためにいろいろの条件をつけてお願いをするというのはあるのですが、お医者さんに言いますと、「土地や5,000万出しているぐらいで来ねえよ」と、「大体先生がいねえんだ」という話なのです。これを増やして、本当に子供をやっぱり安心して産めるような状態をつくっていくという、これはもう子ども手当以前の問題というふうに私は思っております、これはもう国を挙げて産科医の状況を解決していかなくてはいけないというふうに思っております。一番の大きな要因は何かといたれば、やはり訴訟問題で、もうやっつけられないというのが現状だそうでございます。そのことをきちっとやっぱり国として対応していかないと、産科医は増えないという状況だと思います。

私も、個人的なことですけれども、孫が生まれまして、産気づきまして、私しかいなかったものですから、私が車で蓮田まで運びましたけれども、この思いはもう本当にはらはらどきどきでございまして、何とか間に合いましたけれども、そういう状態

というのは現実でございますので、我々も努力をしますけれども、この問題というのはやっぱり国を挙げてやってもらうように我々も要望をしていきたいというふうに思っております。これからも努力させていただきます。

○議長（市川幸三議員） 健康福祉部長。

〔栗原安雄健康福祉部長登壇〕

○栗原安雄健康福祉部長 3回目の質問にお答えをさせていただきます。

医師不足との関係については、今市長のほうから申し上げたとおりでございます。

あと、私のほうからは、市民からの問い合わせの件数と、そんなふうなご質問がございました。概略で申し上げますと、1日1件あるかないかと、そんなふうな状況のようでございます。

以上です。

○議長（市川幸三議員） 市民生活部長。

〔柴栄市民生活部長登壇〕

○柴栄市民生活部長 オケちゃんの関係なのですが、ご質問がちょっとわからなかったのですが、いかに市民を巻き込んでいくかということでございまして、オケちゃんは観光協会が所管しておりますが、一応観光協会のほうでオケちゃんファンクラブとか、それから応援隊といったものを募っております、これが認知度が低いということで、なかなかファンクラブは集まらないところがありますので、こういった形でファンを集めていって、まず市内からオケちゃんを支援していただくと。この応援隊によって市外へ露出機会を増やしていくと、いろんなところへ出かけさせて、行かせていただいて、オケちゃんを認知していただいて、それによって桶川に来ていただくと、それによってまた観光といったものを活性化させた上で、先ほどの活性化につなげていけると考えています。

以上でございます。

---